

愛川小田急多摩線延伸促進協議会だより

第10号

令和 4年 3月 発行

発行／愛川小田急多摩線延伸促進協議会 編集／愛川町企画政策課

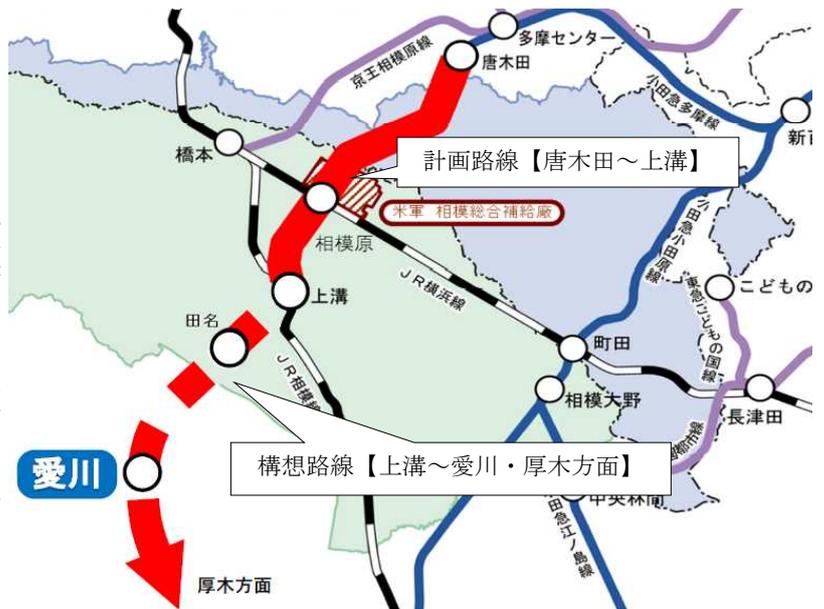
「かながわ交通計画」に愛川・厚木方面への延伸が位置付けられました

令和 4年 3月に「かながわ交通計画」が改定され、小田急多摩線の愛川・厚木方面への延伸が位置付けられました。

前回までの計画では、小田急多摩線の延伸については、相模原市までの計画となっていました。今回の改定では、上溝までの延伸を概ね 20年後を目標として整備または事業化に向けた具体的な検討が望まれる“計画路線”と位置付けられたことに加え、愛川・厚木方面の延伸について、今後計画路線への検討が必要と考えられる”構想路線”と位置づけられました。

また、愛川・厚木方面への延伸は「今後のまちづくりの動向等を踏まえ、愛川・厚木方面への延伸の検討が望まれます。」とされており、上溝までの延伸の進捗や沿線地域の状況などをみながら検討していくものと考えられます。

今後も、本協議会では、関係団体と連携しながら、延伸の実現に向けた要望活動などを実施してまいりますので、より一層のご協力をお願いいたします。



かながわ交通計画とは？

「かながわ交通計画」は、概ね20年後を見据え総合的な交通ネットワークの形成をめざし、神奈川における望ましい都市交通を実現するための交通施策の基本的な方向を示した神奈川県が策定する計画です。この計画は、広域的な都市づくりの基本方向を示している「かながわ都市マスタープラン」を支える交通政策の部門別計画で、県はこれまで、この計画に基づき、道路や鉄道といった交通網の整備などを進めてきました。

県の計画における位置付け

総合計画
(県の最上位計画)

かながわ都市マスタープラン
(都市づくりの軸となる個別計画)

かながわ交通計画
(交通政策の部門別計画)

行政や交通事業者が共通の目標を目指して事業を実施

愛川小田急多摩線延伸促進協議会会長あいさつ

日頃、本協議会に対しまして、多大なるご理解とご協力を賜り、心からお礼申し上げます。本協議会は平成25年に設立して以降、9年間活動を行ってまいりました。この間、平成28年には国の鉄道整備の考えを検討する「交通政策審議会」の答申が示され、小田急多摩線について、唐木田から上溝駅までの延伸が明確に位置付けられたほか、その先の区間につきましても、上溝駅までの整備状況を踏まえて検討すると示されました。また、本年度には、「かながわ交通計画」に愛川・厚木方面の延伸が位置付けられるなど、実現に向けて一步一步前進していると感じております。

激甚化する自然災害や超高齢化社会の進展など、社会情勢が目まぐるしく変化していく中、鉄道をはじめとする交通ネットワークの整備は、利便性の向上のみならず、災害に強い都市基盤の整備のほか、脱炭素社会の実現など、持続可能な社会の実現のためには必要不可欠であります。

鉄道の延伸は一朝一夕では実現しませんが、将来を担う若い世代のためにも、粘り強く、着実に、延伸実現に向けて進めてまいりますので、今後とも本協議会活動へのご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

愛川小田急多摩線延伸促進協議会 会長 瀧 亀久男

小田急なら、こどもはどこまで乗っても一律50円

小田急電鉄株式会社では、子育てしやすい沿線環境の実現に向けた全国初の取り組みとして、令和4年3月12日にICカード利用時の小児運賃を全区間一律50円に改定しました。ご家族そろってのお出かけなどに、小田急線を利用してみてはいかがでしょうか。

これまでの小児IC運賃と比べると…

本厚木駅－新宿駅間が片道201円お得！

本厚木駅－小田原駅間が片道181円お得！



愛川小田急多摩線延伸促進協議会の構成団体（42団体）

[自治会]

川北区、宮本区、原臼区、両向区、細野区、田代区、角田区、三増区、箕輪区、小沢区、上熊坂区、熊坂区、下谷八菅山区、二井坂区、桜台区、半縄区、坂本区、六倉区、大塚区、桜台団地区、春日台区

[商工団体]

愛甲商工会、神奈川県内陸工業団地協同組合、愛川工業クラブ、大塚下団地共栄会、（一財）繊維産業会、（公社）厚木法人会愛川支部、（一社）厚木青色申告会愛川地区会、あいちゃん商店会、愛川町観光協会、愛川町食品衛生協会、（一社）愛川町建設業協会、愛川管工事協会、愛川町電設協会、愛甲造園組合、愛川町自動車整備協会、愛川液化ガス協同組合、愛甲商工会青年部、愛甲商工会女性部、中津川漁業協同組合、（一社）神奈川県建築士事務所協会愛川支部、愛川町商業振興協同組合 《順不同》